

赤松 達也

akamatsu tatsuya



同志社大学在学中より数々の舞台に出演。
平成25年2月、パンプランニングのミュージカル「セレブ気どり」（作・演出：是枝正彦、銀座みゆき館劇場）に出演（お笑い芸人で詐欺師のクレゾール・トト役）、16～17年ぶりに舞台上に復帰。同年10月、離島地域調査業務を中心とした「オフィス・アカマツ」設立。



Biography

出身地	香川県高松市
学歴	香川県立高松高等学校卒業 同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業
演技上の強み	へらへらしゃべる役から寡黙な役まで。アドリブは利く。 日本の離島に対する知識・うんちく。訪れた離島は約90島。 離島を専門領域としたコンサルタントでかつ、俳優はおそらく日本で唯一人。
趣味	・読書・映画・演劇・音楽鑑賞・水泳

Performance

大学～卒業	<ul style="list-style-type: none">同志社大学在学中に、学生劇団である「演劇集団Q」に役者として参加、外部劇団も含め計5回公演。卒業公演として、有志により北村想氏の「寿歌」を上演。後日、芝居を観に来ていただいた北村氏より、「僕、あなたのゲサク好きでしたよ」とのコメントをいただく。大学卒業時に「やっぱり、芝居をやるなら東京だ」と上京。広告代理店に勤めながら、芝居を観まくる。夢の遊眠社、青い鳥、状況劇場、転形劇場等。
20代中頃～30歳前半頃	<ul style="list-style-type: none">試行錯誤を経ながら、劇団OFF☆OFF☆OFFを結成。10数回公演を重ねる。代表作「ラスト・シミュレーション」（バルテノン多摩・小劇場フェスティバル参加作品）。主に主人公たちと対極の立場で物語を進行する役を担う。やがて劇団運営に行き詰まり、解散最終公演「オートバイ」を取り壊し前の浅草公会堂で行う。ラストには5台のハーレーダビットソンが舞台上に出現する本作は、皮肉にも劇評で好評を得る（赤松達也名でも劇評で評価を得る）。
30代	<ul style="list-style-type: none">公演単位でスタッフ・キャストを集める東京ギンガ堂に旗揚げから数公演に出演。アルジャーノンに花束を下敷きにした「ブレンストーム」（青山円形劇場）は、各劇評で好評を得る（赤松達也名でも劇評で評価を得る）。30代終わりに最後の舞台上に立ち、後は会社員（官公庁・自治体等を対象としたシンクタンク。離島地域の地域振興業務等に従事）を務める。平成24年9月、退職。※舞台出演時、各種ナレーション、CM、ビデオパッケージにも出演。東京電力の展示会用VPでは柴田理恵さんと共演（柴田さんは覚えていないでしょうか）。
50代	<p>平成25年2月、パンプランニングのミュージカル「セレブ気どり」（作・演出：是枝正彦、銀座みゆき館劇場）に出演（お笑い芸人で詐欺師のクレゾール・トト役）、16～17年ぶりに舞台上に復帰。同年10月、離島地域調査業務を中心とした「オフィス・アカマツ」設立。併行して舞台上に立つ。以下、現在までの主な出演作。</p> <ul style="list-style-type: none">平成25年6月、パンプランニング「見えない人たち」（作・演出：是枝正彦、銀座みゆき館劇場）：第2話「奇々怪々」の主人公、鈴木一郎役（極端に目立たない男で大好評）。平成26年5月、パンプランニング「スガナレル」（作・演出：是枝正彦、銀座みゆき館劇場）：ヒロインの強欲な父親役を演じ大好評。平成27年10月、劇団鳥獣戯画創立40周年記念公演「山吹峰に鶯啼く」（作・演出：ちねんまさふみ、下北沢ザ・スズナリ）：ヒロインの父親で会津藩師範の下境軍兵衛役（パンプランニングの舞台を観た劇団から出演のお誘いを受ける。初めての時代劇・殺陣を経験）その他：赤松早苗「絵本の料理人」シリーズ。渋谷画劇団紙芝居師（悪徳商法撲滅キャンペーン銭湯紙芝居等）。